

ASEFUAN (ASEF ユニバーシティー同窓会) 「カルチャー宅急便」プログラムの概要 (ご案内)

ASEFUAN (ASEF ユニバーシティー同窓会) とは？

1996 年以来、アジアとヨーロッパの対話、協力、そして相互理解を促進する目的で、EU (ヨーロッパ連合) 加盟国と ASEAN+3 (東南アジア諸国連合と日本、中国、韓国) は、ASEM (Asia-Europe Meeting) 「アジア・ヨーロッパ首脳会議」を定期的で開催してきました。さらなるアジアとヨーロッパとの地域を越えた理解と協力を進めるべく、ASEM の常設機関のひとつとして、ASEF (アジア・ヨーロッパ財団) がシンガポールに設置されました。

ASEF (アジア・ヨーロッパ財団) は、「ASEF ユニバーシティー」は、年に 2 回アジアまたはヨーロッパの大学を会場に、ASEM に加盟する 45 カ国の大学から有能で有望な学生を厳しい選考の上招待します。参加する学生は 2 週間生活をともにし、交流と議論を深めます。また、アジア、ヨーロッパの各国から第一級の研究者や実務者を招き、参加学生にさまざまな視点から最近の政治、経済、社会の課題について講義を行い、学生間の議論を深めます。1999 年以来、これまで 12 回この「ASEF ユニバーシティー」プログラムは開催され、500 人を超える学生が参加しました。

このプログラムの参加経験した学生が、さらなるアジアとヨーロッパの協力関係と理解を進めるために、「ASEF ユニバーシティー同窓会」ASEFUAN ((ASEF University Alumni Network) を 2001 年に結成致しました。「カルチャー宅急便」とは、この ASEF ユニバーシティー同窓会が行なう文化交流プログラムの 1 つです。

ASEFUAN 「カルチャー宅急便」プログラムとは？

ASEFUAN (ASEF ユニバーシティー同窓会) が行なうプログラムのひとつである「カルチャー宅急便」とは、小・中・高校の 9 歳から 17 歳の生徒を対象にしており、アジアとヨーロッパの学校の学級間での国際文化交流です。

具体的には、アジアとヨーロッパ各国の学校の学級間で、自国の文化を紹介するもの、また学校の日常生活を紹介するものを「カルチャー宅急便」として相互に送り合い、生徒たちの間で相手の学級の国の文化について相互理解を深めるとともに、生徒たちの国際的視野を養成することを目的としています。

「カルチャー宅急便」として送る箱の中に入れるものは、各学級で相談の上で決めていただくのですが、日本の文化や地域の風習を伝える物 (写真、絵はがき、お菓子、人形やおもちゃ等) や、また各学級を紹介する手紙や写真、ビデオなどが例として挙げられます。その際に必要な経費は一切 ASEFUAN (ASEF ユニバーシティー同窓会) が負担いたします。また、相手国の学校学級との連絡や調整は、現在日本にいる ASEFUAN のメンバーが担当いたします。

これまでにオーストリアとフィリピン、フランスと韓国、そしてドイツとインドネシアの各学校の学級単位でこのプログラムは実施されてきました。現在、日本とヨーロッパ各国との間で、また日本と他のアジア各国との間でもこのプログラムの計画を考えております。このプログラムは、アジアとヨーロッパ各国の学校の生徒に、相互に「カルチャー宅急便」を交換するなかで、お互いの文化や生活スタイルに直接触れることができますし、生徒たちの真の国際理解のための手助けとなります。

「カルチャー宅急便」プログラムに参加するには？

このプログラムで必要な経費は一切 ASEFUAN（ASEF ユニバーシティ同窓会が負担いたします。送付代金をはじめ、写真や映像を送付するのに必要な機材についても ASEFUAN で用意致します。また、相手国の学校学級との連絡や調整は、現在日本にいる ASEFUAN のメンバーが担当いたします。

現在、2名の ASEFUAN 執行委員会の学生がおります。まずは彼らにご連絡下さい。できましたら、直接お会いして詳しいご説明をしたいと思っております。よろしくご検討のほどよろしくお願い致します。

info@culturecapsule.org

日本 ASEFUAN メンバー

・都築 正泰（日本・東京大学大学院）

E-mail: mtsuzuk0921@yahoo.co.jp